

柏西ロータリークラブ

創立：1975年11月 7日

承認：1975年11月24日

四つのテスト

1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるか？

人類に
奉仕する
ロータリー

第1976回通常例会 (2016.12.2)

会長：馬場 弘 幹事：水留 茂之

■柏西ロータリークラブURL:<http://kashiwa-nishi-rc.com/>■第2790地区ロータリークラブURL:<http://www.rid2790.jp/2016/>

1976回通常例会

- 1. 点 鐘 馬場 弘 会長
- 1. 会長挨拶 馬場 弘 会長
- 1. 幹事報告 水留 茂之 幹事
- 1. 卓 話 アニョレッティ・マルコ
- 1. 点 鐘 馬場 弘 会長

会長挨拶

会長 馬場 弘



12月のロータリー月間は、疾病予防と治療月間です。

別紙で記載

今回、奉仕プロジェクト委員長が、どうしても引き受けて頂ける方がおらず、私の力不足の為、よって理事発表をする事が出来ませんでした。長老の方々の説得のもと引受けて頂きましたので来週年次総会では会長エレクトより報告があると思います。

次年度役員、理事が発表されますので次年度の役員理事様よろしくお祈りします。

次年度地区幹事長 柏クラブの神野様から ガバナー月信の委員を一名選出して下さいとの要請がありました。IT に詳

しい方をお願いします。

第10分区合同ゴルフのお誘いが届きましたが29年4月20日との事で大相撲柏場所と、重なってしまいました。ゴルフが良いか、大相撲柏場所が良いか会長幹事会でもんできますので今しばらくお待ちください。

又、先日卓話にいらっしゃいました、柏歴史クラブ上山様よりお礼状が届きました。来年の春から夏頃までに、報告書が完成しますとの事です。

寄付をして頂いた方々には大変ありがたいとお礼状が届きました。

幹事報告

水留 茂之

- 1.2016 学年度「米山記念奨学生及びカウンセラー新年度懇談会」の案内
日時：1月15日(日)15：30～18：00
会場：千葉スカイウイドウズ(東天紅)

2. 柏東ロータリークラブ「クリスマス家族例会」の招待(会長 / 幹事)
- 3.2017-18 年度地区委員月信委員会委員推薦の依頼

卓話

米山奨学生 アニョレッティ・マルコ



皆さん、こんにちは。本日、卓話の機会をいただき、どうもありがとうございます。ご存知の方も多くいると思いますが、私はアニョレッティ・マルコと申します。現在24歳で、三人兄弟の長男です。イタリアのウディネから参りました。ウディネは、人口がおおよそ10万人で、フリウリ=ヴェネツィア・ジュリア州というイタリアの最北東の地方に位置します。北ではオーストリアと、東ではスロベニアと国境を接しているフリウリ=ヴェネツィア・ジュリア州は、まさに国境の地方だ

Rotary



からこそ、古代ローマ時代から現代にかけて複数の影響を受けたため、文化的に豊かで、大変特別な州です。その文化的な豊かさについて永遠に話せますが、この場でそれを控えさせていただきます。ただ一つ例を挙げると、現在フリウリで用いられている言語は、なんと五つで、イタリア語だけを話す人は大体3分の1で、ほとんどの人は、イタリア語と共にフリウリ語、ヴェネト語、スロベニア語あるいはドイツ語を日常的に使います。

このような環境で生まれ育った私は、異文化理解かつ異文化コミュニケーションの重要性を強く感じました。また、子供の頃から好奇心旺盛で、知らないことを全て知りたくて、遠い異なる文化はなおさらでした。それで、小学校はインターナショナル・スクールに通うことにしました。そこで、五年間ほとんどの科目を英語で勉強して、国際的な教育を受けたと言えます。その後、ずっと科学分野を専攻したにも関わらず、同時に哲学——主に古代思想と道徳・倫理——に非常に関心を抱くようになりました。

13歳の頃哲学を通じて、まずアジアという馴染みのない世界を発見して、しばらく古代中国の思想家に集中してから、とうとう宮本武蔵の『五輪書』、山本常朝の『葉隠』、新渡戸稲造の『武士道』などという武士の思想についての作品を読み始めました。それは、日本との最初の出会いです。そこから、どんどん日本文化に興味を持つようになって、日本の文学、歴史、美術、さらに日本語などをより深く勉強したいと思い、ヴェネツィア大学に進学することにしました。ヴェネツィア大学の交換留学プログラムによって、2013年に東海大学で短期留学することになり、初めて日本に参りました。

大学時代は、日本と母国イタリアとの相違点が確かに存在すると認識したと同時に類似点も見えてきました。その中で、それぞれの文化の最も根本的なものと見なされている神話、伝説そして民話が、現在も人間の心を捉えますし、この世を解釈するための最古モデルだと分かってきました。そういった理由で、異文化理解かつ異文化コミュニケーションを支えるように、神話などを出発点として用いなければならないだろうかと考え、比較神話学を自分の専門分野にしました。現在、神話の解釈学の専門家である岩沢知子先生のもとで、まさに日本神話とギリシア神話の比較研究を熱心に行っています。

私の専門分野はとても狭いと言えるかもしれませんが、私の興味はそれに限るといってはいけません。実際に幅広い興味を持っていて、先に言ったように好奇心旺盛で何でも知りたい人です。ですから、日本にいる間に何を学んでおきたいかと聞かれたら、少し迷って答えられなくなってしまいます。正直に言うと、出来る限り多くのことを学びたいと思っています。日本の社会、習慣、食文化、さらに日本人の考え方、世界観、興味などを全て知りたいです。

ですから、ロータリアンとの交流では、多くの人との出会いや、協力ネットワークの創造、お互いに知識や意見を交換したりすることで日本の風習を深く知ることができると期待

しております。この期待に応じて、先月いつもお世話になっているカウンセラーの榊さんに誘われて、榊さんのお寺を見学させていただきました。5時に鐘も鳴らさせていただきました。本当に言葉で説明できない程貴重な経験でした。榊さん、どうもありがとうございました。これはただ一つの例として挙げますが、実はロータリアンの皆さんと交流できること自体は、私にとって非常に貴重な機会で、大変光栄に思っております。

ところで、現在のような不安定な国際状況にある時代、テロ事件の発生、ナショナリズムや不寛容の再生などが見られる時代においては、国際交流や異文化理解が不可欠だと思っています。個人的なレベルにおいても、社会的なレベルにおいても、さらに国際関係に至るまでも「無知」ということは、「偏見」を生み出します。そしてその「偏見」は、また「不平等」と「不寛容」を生み出すということを確信しています。それから、この悪循環から抜け出すために、リスペクトや協力が満ちた世界が造れるように、まずその「無知」と戦うしかありません。そこで、将来は、学んだ知識を活かして、自分の研究などによって、異文化交流かつ国際交流を支えたり、文化の違いを超えて人間がお互いに分かり合うことが出来たりするような掛け橋として活躍したいです。

もちろん、この夢が叶うまでには、まだ頑張らなければなりませんが、数か月前は米山奨学生として、また私自身の使命でもある、日本と世界との掛け橋になることを既に実践してみました。まず日本人を対象として、哲学の立場から見た「経験」とその日常生活における役割について講演させていただきました。また、日本人口学会第68回大会において海外からいらっしゃった教授の担当として、メール対応、ご案内、翻訳・通訳などをさせていただきました。このイベントは、参加者にとってとても良い文化交流の機会でした。そして感謝の言葉をいただいて、日本と世界との掛け橋になれるように、さらに頑張りたいと思いました。同時に目的に向かっての一步進んだというのも強く感じました。

それが終わってから、新たなエネルギーで、次の国際セミナーの準備のため頑張りました。その結果、今月の9・10日に、麗澤大学で歴史人口学についての国際セミナーが開催されます。私も修士論文の作成などで色々忙しいのですが、海外——スウェーデン、イタリア、アメリカなど——からのゲストもたくさんいらっしゃいますので、逃せない機会です。興味があれば、ぜひお越しいただければと思います。

ロータリアンの皆さんが私を支援してくださったおかげで、そのような経験が出来ました。心から大変感謝しております。今後、奨学期間が終わっても、ロータリアン、世話クラブ、カウンセラーとの縁を絶対切らずに、いつか必ず恩返ししたいと思います。

改めて、本日卓話の機会をいただき、どうもありがとうございました。



第1回米山功労者 水野会員



委員会報告 PHS コーディネーター 鈴木桂三会員



お誕生日おめでとう



お誕生日おめでとう



アニョレットティ・マルコ(米山記念奨学生)
マストラントニョ・エーレナ(ミラノローターアクト)

ニコニコ BOXありがとう！

- ★ 本人誕生日
鈴木(子)、浅野、箕輪、湯浅、松本(隆) 会員
- ★ パートナー記念日
馬場、江口 会員
- ★ 結婚記念日
箕輪 会員

ゲスト

アニョレットティ・マルコ(米山記念奨学生) 様
マストラントニョ・エーレナ(ミラノローターアクト) 様

出席報告

| | |
|-----|-----|
| 会員数 | 64名 |
| 欠席者 | 10名 |

市川、影山、金本、後藤、小林、東海林、
杉山、助川、山崎、野寄 各会員

出席率 84.38%

次回の例会は12月9日(木)通常例会です。

クラブ会報委員/安田 勝紀・浅野 肇・箕輪 満・市川 利一郎
卓話原稿は kwrc.photo@gmail.com までお送りください。

欠席報告は、水曜日の正午まで

※食事の無駄をなくす為に協力して下さい。
クレストホテル(営業課) 04-7146-1122まで

疾病予防と治療月間 リソースのご案内

<出版物>

電子ファイルは資料名をクリックしてご利用いただけます。印刷版は、注文用紙にてお申し込み願います。

➤ [ロータリーの重点分野ガイド（資料番号：965）](#) [印刷版：\$2.00]

電子版は、6・7ページに疾病予防と治療に関する情報がございます。(2015年5月版)

<映像資料>

オンライン版のみになります。映像名をクリックし、再生ボタンを押していただくか、ダウンロードの箇所から保存してご利用願います。

➤ [世界でよいことをしよう：疾病と闘う](#)

HIV 孤児たちに希望を与えるロータリアンの闘いの様子です。[2分41秒]

➤ [ウクライナでよいことをしよう](#)

最新の医療機器がロータリーからの支援で導入されたことにより、20年間で1400人以上もの心臓病の子どもたちが救われました。[3分29秒]

<ウェブ掲載記事>

タイトルをクリックいただきますと、記事のページが開きます。

➤ [第7章「3-H：ロータリー財団の輝く新たな夜明け」からの抜粋](#) (2016年11月)

ポリオプラスの始まりに触れた記事です。こちらはロータリー財団100年誌『世界でよいことをしよう：人びとの心に触れた100年』からの抜粋となります。

➤ [ナイジェリア保健相がロータリーを訪問：ポリオへの対策について語る](#) (2016年10月)

ナイジェリア保健相が、国際ロータリー世界本部でロータリーリーダーと会談し、最近のポリオ発生による感染拡大を食い止めるための戦略について説明しました。

➤ [インドでの眼科医療の改善に力を注ぐロータリアン](#) (2015年12月)

ロータリー財団の補助金プロジェクトによって、760人に無料の白内障手術が提供され、その他の眼病に悩む人たち2,500人に対しても治療が行われました。

柏西ロータリークラブ 2016～2017年度 第7回 理事会資料



| | | | | |
|-------|--------------------|--|------|---------------------------------|
| 開催日時 | 2016年 12月 2日 例会終了後 | 会長 | 馬場 弘 | |
| 開催場所 | ザ・クレストホテル柏 | 幹事 | 水留茂之 | |
| 理事 | 出欠 | 議題概要 | | |
| 馬場 弘 | ○ | ①2017-2018年度 役員・理事選出(案)の件 (金子正会長エレクトより)承認 ②報告事項 <input checked="" type="checkbox"/> 2016-17年度11月決算報告 <input checked="" type="checkbox"/> 10/30(日) 手賀沼エコマラソン収支報告書 <input checked="" type="checkbox"/> 11/18(金) 職場見学決算報告書 <input checked="" type="checkbox"/> 社会福祉協議会平成28年度特別会員会費(一万円)依頼 ③その他 ・理事会に必要な応じて、委員長にオブザーバーで出席してもらう ・エコキャップの回収について(柏市にも回収業者があるらしい) ・ネパール支援について、今年度は情報収集を行う為に大使館を訪問する | | |
| 秋元慶一 | × | | | |
| 金子正 | ○ | | | |
| 嶋田英明 | ○ | | | |
| 中嶋利生 | ○ | | | |
| 中村佳弘 | ○ | | | |
| 日暮肇 | ○ | | | |
| 増谷信一 | ○ | | | |
| 松本ユミ | ○ | | | |
| 松本隆一郎 | ○ | | | |
| 水野晋治 | ○ | | | |
| 森市直樹 | × | | | |
| 水留茂之 | ○ | | | ●次回理事会 2017年 1月 13日 (金) 【例会終了後】 |

ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。

